

東臼杵地域基本計画

東臼杵農林振興局

令和8年3月

東臼杵農林振興局

目次

(ページ)

1	計画の性格と役割	1
2	地域農業・農村の特性	2
3	現状・課題	3
4	目指す将来像	3
5	重点的施策一覧	4
6	各重点的施策 (No1～No5)	5 - 14

1 計画の性格と役割

本計画は、本地域における農業・農村の持続的発展に向け、目指す将来像や重点的施策をとりまとめたもので、以下の役割を有します。

なお、本計画は、「地域農業・農村の特性」、「現状・課題」、「目指す将来像」、「重点的施策」で構成し、重点的施策においては、各施策毎に「全体計画」として令和8年度から令和12年度の5年間で取り組む内容や目標を示しています。実施に際しては、別途「単年度計画」を作成し、より具体的に実施内容や時期等を明らかにした上で取り組みます。

本計画が、農業者、市町村、農業関係団体等における諸計画や産地振興等に向けた共通指針として活用されることを期待します。

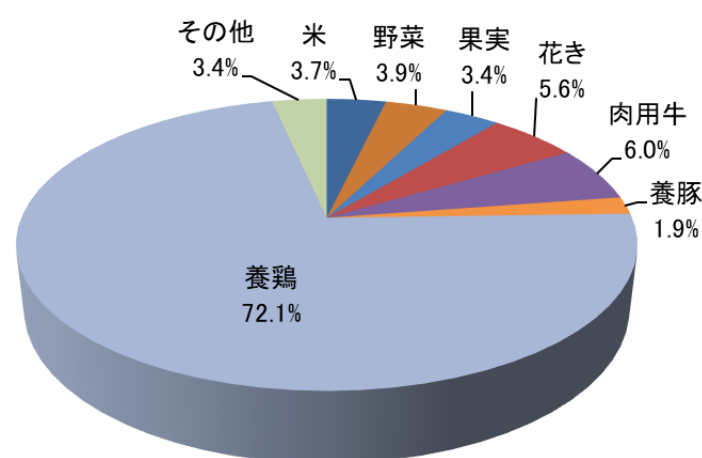
- 第八次宮崎県農業・農村振興長期計画における、目標や目指す将来像実現に向けた具体的な施策である「基本計画」のうち「地域」における具体的な展開方向を示す計画として位置付けます。
- 農業改良助長法における協同農業普及事業の運営に関する指針及びガイドライン、県協同農業普及事業の実施に関する方針に基づく普及指導活動計画として位置付けます。
- 令和4年度に改正された農業経営基盤強化促進法に基づく「地域計画」の策定を踏まえ、地域計画の実現に向け重点的に支援する地区を本計画に位置付けます。

1

2 地域農業・農村の特性

- 東臼杵地域は総面積の87%を森林が占め、耕地面積は3%程度です。また、総人口は約18万人で県全体の17.7%を占めています。
- 都市近郊に位置する特徴や海拔0mから1,000mまでの標高差を生かし、沿海地域では水稻や施設園芸、肉用牛繁殖を中心とした経営が、中山間地域では林業や茶、園芸作物、肉用牛繁殖等を組み合わせた農林業経営が展開されています。
- 冬春ミニトマト、きゅうりの生産が盛んであるほか、シキミやへべす、きんかん、くり、たまねぎ、夏秋ミニトマト、高冷地ほうれんそうの産地としても知られています。
- 他の地域に比べて、販売農家に占める専業農家の割合が非常に低く、経営耕地面積1ha未満の販売農家の割合は8割弱であり、小規模経営農家も地域農業の貴重な担い手となっています。
- 農業生産基盤の整備については、農地の利用集積等、営農条件を考慮した生産性の高い土地基盤整備を積極的に進めています。また、中山間地域では、自然環境や景観との調和を図りながら、地域の実情に応じた基盤整備を計画的に進めるほか、農村の快適な生活環境基盤の整備を図っています。

東臼杵地域農業産出額内訳
(R5：485億円)



2

3 現状・課題

- 基幹的農業従事者の平均年齢が県内で最も高くなるなど、農業の担い手の急激な減少が懸念されています。
- 担い手の減少や労働力不足から産地の持続性が脅かされており、生産性の向上や分業生産体制の構築、農地の集積・集約化、生産基盤の整備など地域特性に応じた「産地革新」への取組が必要です。
- 中山間地域においては、生産力の減退に加え、集落機能や多面的機能の低下が危惧されており、基幹産業である農林業と多様な産業との融合による所得・雇用の確保に向けた取組が必要です。
- 頻発化、激甚化する台風や地震などの自然災害等が農業経営に与える影響が大きくなっていることから、施設の強靱化や予防対策の強化が必要となっています。

4 目指す将来像

地域の技と力を集結して、チームで「産地革新」に取り組む東白杵農業

- 地域の中心となる農業者をはじめ、行政や農業団体等がチームとなり、人材育成、労働力確保、農地調整、経営資源承継等の諸課題を解決するための調整機能やサポート機能が発揮されています。
- 経営を退く農業者の施設や農地を、中心的な経営体や多様な経営体が引き受けながら、産地が維持されています。
- スマート農業等先進的技術の導入や農地の集積・集約化により、効率的な農業が展開されるとともに、畜産では生産基盤強化による生産の効率化や、広域流通体制整備による粗飼料の安定確保により、産地が維持されています。
- 多様な人材を活用し、地域内で雇用調整等の仕組みをつくる「人材ベストミックス」の実現により、安定的に労働力が確保され、雇用型経営が育成されています。
- 豪雨災害など危機的事象に対応した防災・減災対策や施設の長寿命化により、地域農業を支える基盤が確立されるとともに、中山間地域では、地域活動組織の統合・ネットワーク化や農業支援サービス事業体の育成により農地を守る仕組みが強化されています。

3

5 重点的施策一覧

No1 : 土地利用型品目を活用した収益性の高い水田農業の確立

No2 : 持続性と生産性の両立を目指す園芸産地の確立

No3 : 次世代に繋げる果樹・花きの産地体制づくり

No4 : 生産基盤の強化による肉用牛産地の維持

No5 : 地域の資源と農業を支える組織や基盤づくり



4

6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
1	土地利用型品目を活用した収益性の高い水田農業の確立	(北部C) 地域農業支援課長 / 農畜産課長、農村整備課長	R8～12
対象市町村		対象者	
延岡市（取組1、2、3） 管内全域（取組1）		延岡市稲作研究会、水田大規模経営体 地域計画の重点地区における認定農業者	

全体計画（5年間計画）

(1) 目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> 地域計画に基づく農地の集積・集約化やスマート農業等の技術導入により、生産性が向上している。 水田を活用した土地利用型品目の導入により、収益性が向上している。 水田大規模経営体を担う人材が確保され、経営拡大が進展している。 		
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> 水田の生産基盤の拡充とスマート農業の推進 水田を活用したたまねぎ、小麦等の土地利用型品目の推進 水田大規模経営体を担う人材の確保・育成 	ロボット田植機	オペレーター養成研修

(2) 目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● スマート農業技術導入経営体数 ¹⁾	4 経営体	15 経営体 (R8～R12の累積)	● 大規模経営体 ²⁾ の平均 作付延べ面積	23.0ha	25.0ha

1) 国庫または県単事業を活用してスマート農業機械を導入した経営体数

2) 経営耕地面積が10ha以上の経営体

(3) 必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）



取組事項	農企	農畜	農計	農整	地支 南部	農経 南部	地農 北部	家保	他	R	R	R	R	R
										8	9	10	11	12
取組①：水田の生産基盤の拡充とスマート農業の推進														
内容1：地域計画の実現に向けた推進	●		○	○	◎		◎		市町村、バンク、農委	●	→	→	→	→
内容2：基盤整備推進と用水管理の省力化			●	◎	○	○	○		市町村、土改区	●	→	→	→	→
内容3：スマート農業技術等を活用した水田大規模経営モデルの構築		●	○		○	○	◎		市町村、JA	●	→	→	→	→
取組②：水田を活用したたまねぎ、小麦等の土地利用型品目の推進														
内容1：「たまねぎ」栽培の省力化に向けた機械化体系の構築		◎	○	○			●		市、JA、農試	●	→			
内容2：優良品種の導入等による「たまねぎ」の早期安定出荷の推進		◎	○	○			●		市、JA、農試	●	→	→	→	→
内容3：病害対策等の支援による小麦生産の安定化		◎	○	○			●		市、JA、農試	●	→	→	→	→
取組③：水田大規模経営体を担う人材の確保・育成														
内容1：経営感覚に優れた大規模経営体の育成		◎					●		市、JA、協議会	●	→			
内容2：農業機械オペレーターの確保・育成	○						●		市、JA、協議会	●	→	→	→	→

● 主担当、◎ 副担当、○ 班員

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
2	持続性と生産性の両立を目指す園芸産地の確立	(南部C) 地域支援課長 / 農畜産課長	R8～12
対象市町村		対象者	
日向市、門川町、美郷町（取組①、②） 管内全域（取組③）		JAみやざき日向地区本部冬春ミニトマト専門部会、JAみやざき日向地区本部施設胡瓜部会 門川町蔬菜園芸振興会 雇用経営体及び雇用検討経営体、就農希望者、新規就農者、認定農業者、集落営農組織	

全体計画（5年間計画）

（1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気候変動に対応した技術導入等により生産性が向上している。 2. 施設専作雇用型経営体为中心となり、産地を牽引している。 3. 多様な雇用人材を活用し、地域内で雇用調整等の仕組みをつくる「人材ベストミックス」が実現されている。 		
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> ① データ分析に基づく冬春ミニトマトの生産性向上対策 ② データ活用によるきゅうりの生産性向上対策 ③ 園芸産地を支える人材の確保・育成 	周年栽培対応高軒高ハウス	外国人材の雇用検討

（2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● 冬春ミニトマト平均単収	10.2t/10a	12t/10a	● 地域の労働力支援組織数	3組織	5組織

（3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）



取組事項	農企	農畜	農計	農整	地支 南部	農経 南部	地農 北部	家保	他	R	R	R	R	R
										8	9	10	11	12
取組①：データ分析に基づく冬春ミニトマトの生産性向上対策														
内容1：栽培方式（養液、土耕）や品種特性に応じた栽培管理技術の普及		◎				●			市町、JA	●	→	→	→	→
内容2：高温対策技術等の導入による収量・品質の向上		◎				●			市町、JA	●	→	→	→	→
取組②：データ活用によるきゅうりの生産性向上対策														
内容1：環境データを活用した栽培管理技術の構築		◎				●			市町、JA	●	→			
内容2：高温対策技術等の導入による収量・品質の向上		◎				●			市町、JA	●	→	→	→	→
取組③：園芸産地を支える人材の確保・育成														
内容1：研修受入から就農後のフォローまで一貫した支援体制の構築	◎				●	○	●		市町村、JA	●	→	→		
内容2：発展ステージに応じた研修の充実による担い手の育成	◎				●		●		市町村、JA	●	→	→	→	→
内容3：外国人材や農福連携等の活用による労力確保	◎				●		●		市町、JA	●	→	→	→	→

● 主担当 ◎ 副担当 ○ 班員

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
3	次世代に繋げる果樹・花きの産地体制づくり	(南部C) 農業経営課長 / (北部C) 地域農業支援課長	R8～12
対象地域		対象者	
美郷町(取組1, 2) 延岡市(取組3)		美郷町農業再生協議会、美郷町さいごう完熟金柑部会 北川町しきみ部会	

全体計画(5年間計画)

(1) 目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> 経営を退く果樹農家の園地が円滑に承継され、産地が維持されるとともに、就農者が定住し、複数の収入源が得られる条件整備が進んでいる。 気候変動に対応した技術力が向上し、収量品質の向上が進むとともに、省力化技術が導入されることで、産地再生が進んでいる。 シキミのドローン防除の受委託体制が整備され、栽培技術の改善により生産量と品質が確保されている。 		
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> きんかんの園地承継推進と地域資源を活用した就農モデルの育成 きんかんの生産性向上を目指した気候変動対応技術の導入 シキミ産地の持続的発展に向けた生産体制の構築 	園地承継台帳作成の説明	シキミのドローン防除試験

(2) 目標

指標	R6(基準)	R12(目標)	指標	R6(基準)	R12(目標)
● きんかん園地承継設定事例数 ¹⁾	0件	3件	● シキミの作業受託面積	0ha	5ha

1) 「園地承継設定」とは、受け手が園地承継を前提とした就農研修や模擬経営を開始する前に、出し手と受け手とで、承継予定時期と承継資産内容等を明確にした書面を交わすことを指す。園地承継の概ね1～2年前に行う。

(3) 必要な取組ごとの実施内容と連携体制(全体像)



取組事項	農企	農畜	農計	農整	地支			家保	他	R8	R9	R10	R11	R12
					南部	南部	北部							
取組①：きんかんの園地承継推進と地域資源を活用した就農モデルの育成														
内容1：きんかん経営を補完する収入源の確保に向けた就農推進体制の整備	○				●	◎			町、JA	●→				
内容2：きんかん園地承継の出し手・受け手の理解醸成とマッチング推進					●	◎			市町、JA	●→	→	→	→	→
内容3：地域と連携した就農研修の実施等による就農モデル事例形成					●	◎			町			●→	→	→
取組②：きんかんの生産性向上を目指した気候変動対応技術の導入														
内容1：高温に対応した管理技術等の導入による収量品質の安定化		◎					●		市町、JA	●→	→	→		
内容2：省力化技術導入による生産性向上		◎	○				●		市町、JA	●→	→	→	→	→
取組③：シキミ産地の持続的発展に向けた生産体制の構築														
内容1：ドローンを活用した省力的防除体制の構築		◎					●		市町村、JA	●→				
内容2：優良系統の導入や栽培技術の改善による収量・品質向上		◎					●		市町、JA	●→	→	→	→	→

● 主担当 ◎ 副担当 ○ 班員

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
4	生産基盤の強化による肉用牛産地の維持	農畜産課長 / (南部C) 農業経営課長	R8～12
対象地域		対象者	
管内全域		認定農業者、認定新規就農者等	

全体計画（5年間計画）

(1) 目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	1. 畜産経営基盤の強化や新技術の導入等により肉用牛産地が維持されている。 2. 新技術の普及や地域内生産体制の強化により粗飼料が確保されている。 3. 中心的な担い手が確保され経営規模の拡大等により経営の効率化がされている。		
	① 人・牛プランに基づく頭数維持 ② 粗飼料の安定確保 ③ 産地を支える人材の確保・育成	牛舎整備	イタリアンライグラスの立毛間播種

(2) 目標

指標	R6 (基準)	R12 (目標)	指標	R6 (基準)	R12 (目標)
● 肉用子牛の年間出荷頭数	3,178頭	2,700頭	● 平均分娩間隔	410日	400日

(3) 必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）



取組事項	農企	農畜	農計	農整	地支 南部	農経 南部	地農 北部	家保	他	R	R	R	R	R
										8	9	10	11	12
取組①：人・牛プランに基づく頭数維持														
内容1：施設整備や繁殖雌牛更新等生産基盤の強化による経営規模の拡大		●					◎ ◎	○	市町村、JA、NOSAI				●	→
内容2：飼養管理技術向上等による肉用牛の生産性の向上		◎					● ●	○	市町村、JA、NOSAI	●	→	→	→	→
取組②：粗飼料の安定確保														
内容1：新品種・省力機械等の導入や栽培管理技術の向上による自給粗飼料生産性の向上		◎					● ●		市町村、JA	●	→	→	→	→
内容2：地域共助による粗飼料生産体制の強化		●					◎ ○		市町村、JA	●	→	→	→	→
取組③：産地を支える人材の確保・育成														
内容1：就農相談や経営承継の推進による人材の確保	○				●	◎	●		市町村、JA	●	→	→	→	→
内容2：経営診断に基づく新規就農者等の経営管理能力の向上	○				◎	●	○ ○		市町村、JA	●	→	→	→	→
内容3：各種専門家を活用した経営コンサルによるモデル経営体の育成	○ ○				●	◎	○		市町村、JA		●	→	→	→

● 主担当 ●、副担当 ◎、班員 ○

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
5	地域の資源と農業を支える組織や基盤づくり	農政水産企画課長 / 農村計画課長・農村整備課長	R8～12
対象市町村		対象者	
管内全域		集落協定、多面的活動組織、土地改良区	

全体計画（5年間計画）

（1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本型直接支払制度の取組が統合及びネットワーク化され、地域資源や施設を維持管理する活動が継続している。 2. 中山間地域において経営力ある農業支援サービス事業体が運営されるとともに、サービス事業体を中心とした農地を守る仕組みが維持されている。 3. 災害に強く持続可能な生産基盤が確立されている。 	 
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> ① 日本型直接支払制度の取組の統合・ネットワーク化 ② 中山間地域のモデル的農業支援サービス事業体の育成 ③ 豪雨災害など危機的事象に対応した地域農業を支える基盤づくり 	

仙人の棚田（椎葉村）

ため池改修（延岡市川島）

（2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● 日本型直接支払制度の取組の統合・ネットワーク化	0市町村	3市町村	● 整備済または着手済の防災重点農業用ため池	8箇所	16箇所

（3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	農企	農畜	農計	農整	地支 南部	農経 南部	地農 北部	家保	他	R	R	R	R	R	
										8	9	10	11	12	
取組①：日本型直接支払制度の取組の統合・ネットワーク化															
内容1：市町村等関係機関との協議による対象の重点化	●		◎		○		○		市町村、JA	●	→				
内容2：集落協定及び共同活動組織の統合・ネットワーク化	●		◎		○		○		市町村、組織	●	→	→			
取組②：中山間地域のモデル的農業支援サービス事業体の育成															
内容1：核となる事業体の抽出・方向性の検討	●	○			◎		◎		市町村、JA	●	→	→			
内容2：モデル的農業支援サービス事業体の経営力強化		○				●	◎		市町村、組織	●	→	→	→		
取組③：危機的事象に対応した持続的地域農業を支える基盤づくり															
内容1：防災重点農業用ため池整備による豪雨に対する防災・減災対策			◎	●					市町村、土改区	●	→	→	→		
内容2：老朽化した農業用水利施設の更新による長寿命化			●	◎					市町村、土改区	●	→	→	→		

● 主担当 ●、副担当 ◎、班員 ○